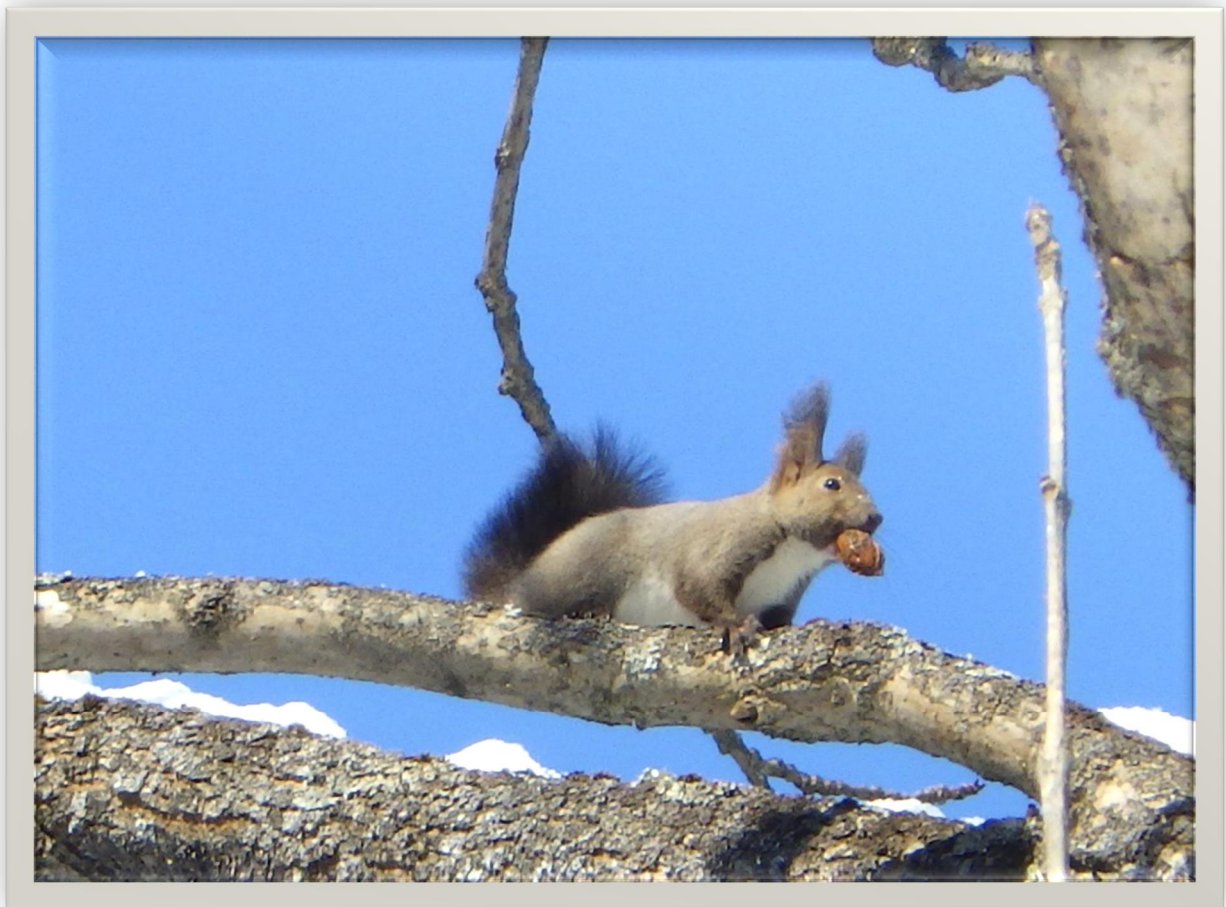


令和7年度

オホーツクの森林 国有林へようこそ



林野庁 北海道森林管理局
網走中部森林管理署

管理経営の重点は公益的機能の維持増進です

網走中部森林管理署の管理区域は、三国山を源とする常呂川流域及び佐呂間別川流域となっており、面積が北海道最大（全国でも4番目）の都市である北見市（平成18年3月に北見市、端野町、常呂町、留辺蘂町が合併）、佐呂間町、置戸町にまたがる1市2町に約11万haの国有林（人工林 約37,000ha（35%）、天然林 約67,000ha（65%））があり、これを管轄しています。

当署が管理している国有林の81%は水資源（飲料水など）の機能を重点的に発揮させるための水源涵養タイプ、16%は山崩れや土砂の流出を抑えるための山地災害防止タイプ、2%は山地の展望台や景勝地を含み、皆さんに利用してもらうための森林空間利用タイプ、1%は多様な生物の保護や保全するための自然維持タイプに区分し、国民の皆さんの生活を支える公益的機能の発揮を重点とした管理経営を行っています。



重点的に発揮させる機能に応じた 森林の管理経営に努めています

国有林では国土の保全や水資源のかん養、環境の保全などの公益的機能維持増進を重視した管理経営を推進しています。

このため、公益的機能の維持増進と民有林と連携した森林の整備・保全の取組を一層推進するため「公益的機能別施業森林」として森林を重点的に発揮させる機能によって5機能に区分し、それぞれの区分に応じて機能の維持増進を図ることに努めています。

《機能類型別面積》

機能 類型	山地災害防止 タイプ	水源涵養 タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	合 計
面積 (比率)	16,832ha (16%)	86,708ha (81%)	1,082ha (1%)	2,712ha (2%)	—	107,334ha

注) 機能類型別国有林野面積は、国有林野の管理経営に関する法律第2条に規定する国有林野を対象に区分されているため、P8の森林面積とは一致しない。

山地災害防止タイプ	水源涵養タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ
 水土保持機能の向上を図るため、適切な密度管理を行い下層植生の発達を促進させるとともに、必要に応じて土砂の流出、崩壊を防止する治山施設を整備しています。	 管内の人工林では、水源かん養などにも考慮し、伐期の長期化や広葉樹の導入による複層林への誘導を図るなど、適切な保育・間伐等を行っています。	 原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息に適した森林を保護林に指定するなど、その保護・保全に努めています。	 鹿の子ダム(おけと湖)の周囲の国有林では、広大な緑の山峡の青い湖と、湖面周辺の眺望の良い森林美が広がり、森林浴やレクリエーションの場を提供しています。

【国有林野の公益的利用】

《保安林・自然公園等面積》

(単位: ha)

保安林計				自然公園	史跡名勝 天然記念物	鳥獣保護区 特別保護地区	レクリエー ションの森
	水源かん養 林	土砂流出防 備林	その他	網走国定公園			
105,111	84,161	15,759	5,191	1,018	73	435	2,474

公益的機能の維持増進を 図るための取組を推進しています

保安林の整備

土砂の流出、崩壊の防備や水源のかん養が特に求められる森林は「**保安林**」に指定し、良好な森林に整備しています。

管内の国有林は全体の約 98%が保安林に指定されています。保安林では、それぞれの指定目的や森林の機能がより高度に発揮されるよう森林の整備を行うとともに、崩壊地を復旧して森林を回復させ、山地災害を防止するための施設等を整備する「**治山事業**」を実施しています。



○床固工（北見市留辺蘂）



○保健保安林（置戸町 鹿の子沢）

保護林の指定

国有林では、貴重な野生動植物が生息・生育する森林などを**保護林**に指定し、その保護・保全に努めています。

管内の国有林には「端野シラカンバ等遺伝資源希少個体群保護林」他遺伝資源希少個体群保護林 10 種及び「置戸アカエゾマツ希少個体群保護林」の保護林合計 193ha があり、保護・保全が図られています。



○シラカンバ等遺伝資源希少個体群保護林 2288 林班
〔北見市端野〕



○置戸アカエゾマツ希少個体群保護林 39 林班
〔置戸町〕

開かれた国有林で 国民参加の森林づくりを進めています

国有林野の多様で豊かな自然環境、森林・林業に関する知識と経験を備えた人材等を活用し、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等、昨今の国民の要請に応えるため、フィールドの提供や必要な技術指導を行うなど国民による国有林野の積極的な利用を推進しています。

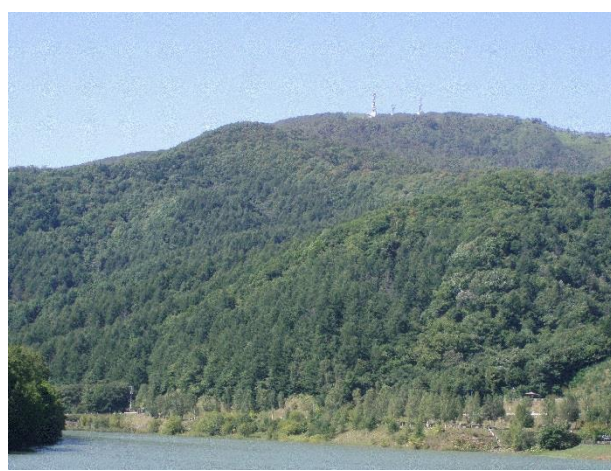
また、自ら森林づくりを体験したい、森林づくりを通じて社会貢献をしたい、森林の役割を学ぶ森林教室を行いたいなどのニーズに応えるため、このような活動を行おうとする民間団体等が継続的に国有林を活用できる「協定締結による国民参加の森林づくり」を推進しています。

活動内容により、「ふれあいの森、社会貢献の森、木の文化を支える森、遊々の森、多様な活動の森、モデルプロジェクトの森」の種類があり、網走中部森林管理署では、下記の協定締結による国民参加の森林づくりを行っています。

区分	場所	面積	内容
ふれあいの森	北見市端野町緋牛内 2286、2288 林班	1.94ha	協定者：森林ボランティア「オホーツクの会」 自主的な森林整備活動を目的とした森林整備や森林観察等の活動を通じた親睦・交流を図る場として活用。
多様な活動の森	北見市富里 2249、2250、2252 林班	88.90ha	協定者：仁頃山愛好会 森林の保全を目的とした仁頃山登山道及び山頂周辺における登山安全パトロール等の活動の円滑な実施。



○「ふれあいの森」にある展望台



○「多様な活動の森」北見市仁頃山

国民参加の森林づくり

地元市町との共催による植樹祭等を行うとともに、地元の小学校及び認定こども園等を対象とした森林体験・森林教室などを行い、森林とふれあう機会を提供し、森林づくりへの参加と森林・林業への理解を深めるための活動を行っています。

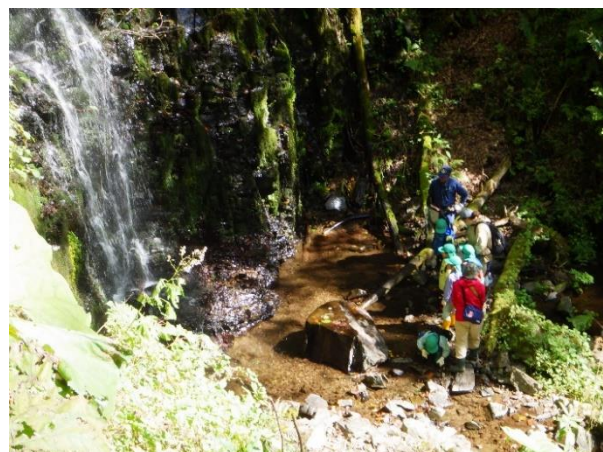
写真は令和6年9月に実施した「認定こども園 置戸町こどもセンターどんぐり」園児の皆さんとの森林散策の様子です。

置戸町子どもセンターどんぐり

「鹿の子沢風景林で森林散策」

令和6年9月25日

園児の
皆さんと

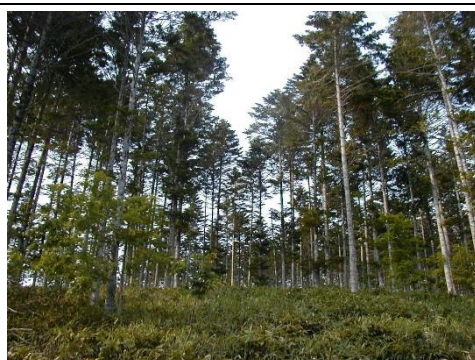


網走中部森林管理署から若手職員が講師として参加しました。鹿の子沢遊歩道を歩きながら、沿線にある、虹の滝、巨木（三本柱）、忍び岩、足元の草花、周辺の樹木を説明して、森林の働き等を理解してもらいました。園児の皆さんは、カエルやキノコを発見したようで、地元置戸町の雄大な自然を堪能してもらいました。

木材の安定供給に努めています

育成複層林施業

公益的機能の維持増進を図りつつ資源の循環利用を推進するため、抜き伐りを繰り返しながら、最終的には2段以上の樹冠構成を持った森林へ誘導していくことを目指しています。



○抜き切りを実施したトドマツ人工林

森林整備と木材の安定供給

再生可能な資源である木材を循環的に利用するため、自然条件等を勘案しながら伐採と植林を繰り返して、木材を安定的に供給するよう努めています。

また、伐採した木材の一部は、公募に応じた製材工場等と協定を締結し、計画的に木材を販売することで国産材の利用拡大を図る「安定供給システム販売」を実施しています。



○列状間伐を実施したトドマツ人工林



○木材搬出に利用される林道



○フォワーダによる木材の搬出



○有効利用される間伐材

流域を単位に民有林行政と連携した 森林整備等に努めています

流域管理の推進

地域における適切な森林整備や林業・林産業の活性化を図るためには、流域を単位として民有林と国有林が協調しながら計画を立て、事業を進めることが重要です。

このため、民有林行政を担当するオホーツク総合振興局や市町と連携して、流域の課題やニーズの的確な把握、森林計画等の策定のための意見調整などに努めています。

森林の現況（網走東部森林計画区のうち網走中部森林管理署管内）

単位：ha・%

市町村	総面積	国有林 (林野庁所管)	道有林	民有林	森林面積計	森林率	森林面積の 国有林率
北見市	142,741	59,303	1,899	33,120	94,332	66	63
置戸町	52,727	31,583	5,115	8,048	44,746	85	71
佐呂間町	40,494	15,063	-	7,691	22,754	56	66
訓子府町	19,095	-	6,035	3,170	9,205	48	-
計	255,057	105,949	13,049	52,029	171,037	67	62

注1）区域面積は「令和7年北海道統計書」、森林面積は「令和5年度北海道林業統計」による。

注2）民有林には市町有林を含む。

流域森林・林業活性化協議会の取組

民有林行政、国有林行政が連携して流域の森林の整備等を進めるために、関係者で「網走東部流域森林・林業活性化協議会」を設けています。

この協議会には網走中部・網走南部森林管理署のほか、オホーツク総合振興局・網走東部流域内の各市町をはじめ多くの関係者が参画し、地域の木材利用の推進等に努めています。

市町村森林整備計画支援への取組

市町村森林整備計画の実行管理や森林所有者等が作成する森林経営計画の策定支援のため市町村森林整備計画実行管理推進チーム等に国有林職員（フォレストラー）が参画し、国有林野事業で携わってきた経験を活かした取組などを通じて技術的支援等を行い、市町村への協力の推進に努めています。

森林認証（SGEC）の取組

平成25年12月、地域の要請等を踏まえ「緑の循環認証会議（SGEC）森林認証」を当署管内及び網走南部森林管理署の網走東部流域国有林全域で取得しました。これにより網走西部流域国有林と合わせ、オホーツク総合振興局管内の国有林全てが認証林となりました。オホーツク地域では森林全体の約8割が森林認証を取得しており、民有林・国有林が一体となった森林認証による取組を進めています。

地域を支援する取組を行っています

最近の取組状況

【ワッカ原生花園環境整備の実施】

北見市常呂町のワッカ原生花園は、オホーツク海とサロマ湖を隔てる砂州にあり、ハマナス、エゾスカシユリなどの草花が見られ網走国定公園、北海道遺産に指定されています。

しかし、北米原産の外来植物イタチハギが繁殖し景観や生態系を損ねているため、網走中部森林管理署が中心となり、平成22年から除去作業に取り組んできました。

新型コロナウイルス感染症対策等もあり、令和元年の活動を最後に休止していましたが、令和6年9月13日、北林会（北見地区国有林 OB）、日本森林林業振興会旭川支部北見支所、北見林業土木協会からのボランティアと北見市常呂総合支所の協力で5年ぶりに活動を再開しました。

場所によっては、人の背丈ほどに成長したイタチハギが道路に覆いかぶさっているところもあり、なかなかのボリュームでしたが、参加者には第1回からのベテランが多く、腰鋸を使って刈り取りを行い、北見市常呂総合支所が用意したトラック2台は、イタチハギで一杯になりました。



【左の水面：オホーツク海 右の水面：サロマ湖】



【繁茂したイタチハギ】



【刈り取ったイタチハギ】



【トラックの荷台も一杯に】

【中間土場の作設】

森林整備の実施箇所には、急峻な地形で土場の作設が難しい。公道が冬期通行止となる奥地にある。積雪等の気象条件が厳しい。生物多様性の高い国有林では希少動植物への配慮が必要。といった制約等のある箇所があり、作業実施期間の調整等を行い作業を実施しています。これらの制約を少しでも解消するため、さらに「物流2024年問題」への対応と周辺に所在する民有林からの出材も考え、中間土場（ストックヤード）の設置を検討してきました。

土場として利用できる面積を有する土地。国道等の公道に近い。住宅地から離れている。借上げが可能等を条件に適地を探し求め、置戸市街地に近い国道242号線沿いに、面積3.72haの中間土場（ストックヤード）を作設して、令和6年度から活用しています。

利用者からは、未舗装区間も無く輸送距離が短くなり楽になった。天候に左右されずに作業ができる。等の声が寄せられており、評判は上々のようです。



【奥地の作業地から丸太が運び込まれ、桤がならぶ中間土場（ストックヤード）】

令和7年度 主要事業量

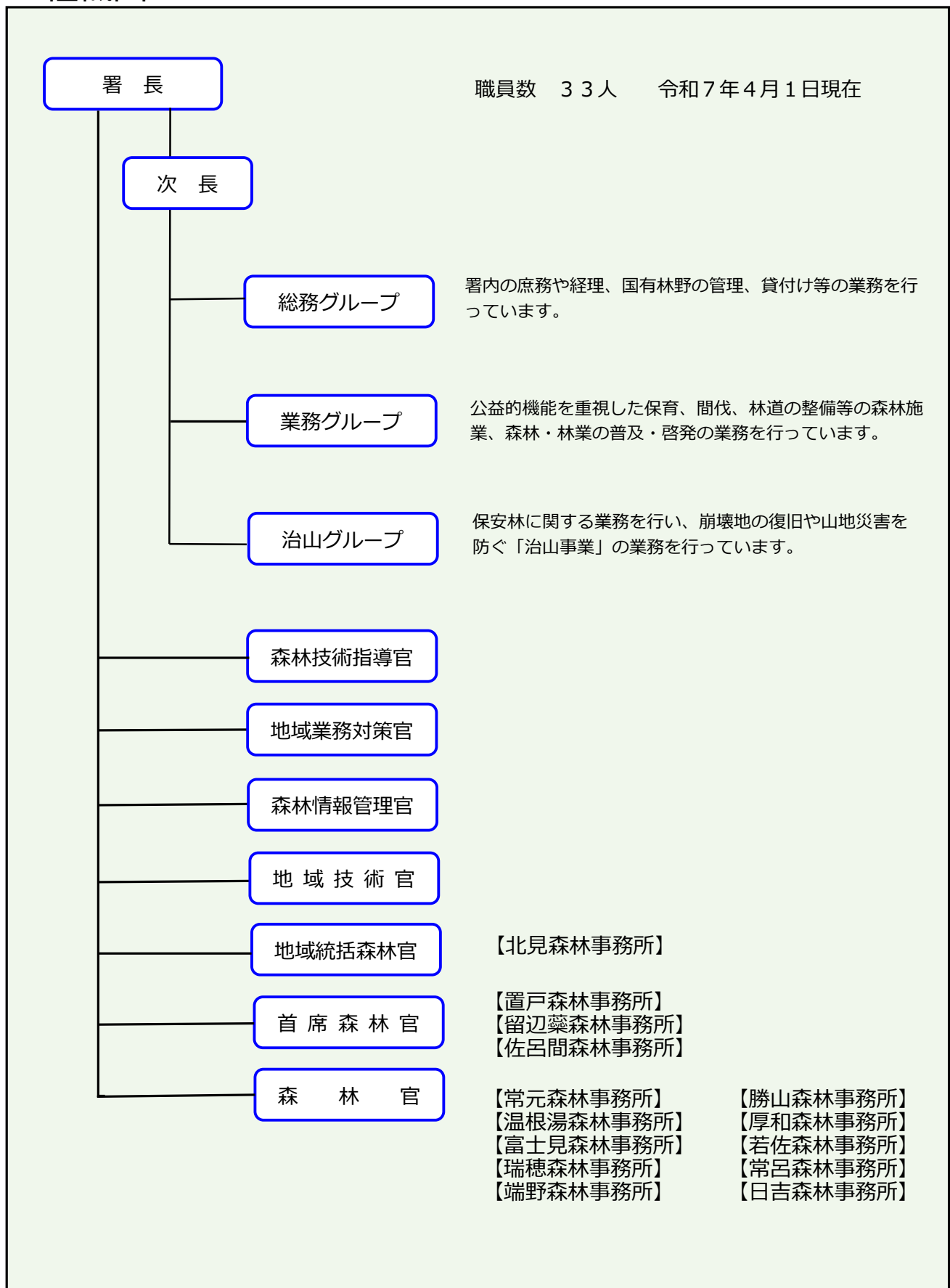
区 分		単位	令和7年度	備考
販売量	立木販売	m3	109,300	
	製品販売	m3	70,000	
造 林	更 新	ha	157.67	
	保 育	ha	203.42	
林 道	新 設	m	1,648	
治山事業		百万円	77	

注1：造林の更新は、新植、改植の植付、天I地拵の合計である。

注2：造林の保育は、下刈、つる切除伐、除伐2類、保育間伐（高齢級含む）の合計である。

注3：造林の更新、保育面積には、治山費による実行分を含む。

組織図



網走中部森林管理署 森林事務所所在地

森林事務所名	所 在 地 等	
置 戸 常 元 勝 山	〒099-1100 常呂郡置戸町字置戸 398-1 TEL 0157-52-3459	
留辺蘂 瑞 穂	〒091-0033 北見市留辺蘂町栄町 82-4 TEL 0157-42-2116	
温根湯 厚 和 富士見	〒091-0033 北見市留辺蘂町栄町 82-4 TEL 0157-45-2707	
若 佐 佐呂間	〒093-0502 常呂郡佐呂間町永代町 98-2 TEL 01587-2-3439	
常 呂 日 吉 北 見 端 野	〒090-0035 北見市北斗町 3 丁目 11-3 TEL 0157-23-7435	

網走中部森林管理署の沿革

年 月	北見市、常呂郡の 国有林管轄官庁	記 事
明治 41 年	内務省北海道庁	網走営林区署設置（網走町）
大正 8 年	内務省北海道庁	網走営林区署野付牛分署設置（野付牛町）
昭和 3 年	内務省北海道庁	野付牛分署が野付牛営林区署に昇格
昭和 17 年 5 月	内務省北海道庁	留辺蘂営林区署設置（野付牛営林区署から分離）
昭和 17 年	内務省北海道庁	野付牛営林区署を北見営林区署と改称
昭和 22 年 5 月	農林省林野局	北見営林区署を北見営林署に改称
昭和 22 年 5 月	農林省林野局	留辺蘂営林区署を留辺蘂営林署に改称
昭和 22 年 10 月	農林省林野局	置戸営林署設置（北見営林署から分離）
昭和 22 年 10 月	農林省林野局	佐呂間営林署設置（留辺蘂営林署から分離）
昭和 24 年 6 月	農林省林野庁	林野局が林野庁に改組
平成 4 年 3 月	農林水産省林野庁	佐呂間営林署と北見営林署を統合、佐呂間営林署と北見森林経営センターに改組
平成 11 年 3 月	農林水産省林野庁	置戸営林署を網走中部森林管理署と改称
平成 11 年 3 月	農林水産省林野庁	留辺蘂営林署を網走中部森林管理署留辺蘂事務所と改称
平成 11 年 3 月	農林水産省林野庁	佐呂間営林署を網走中部森林管理署佐呂間事務所と改称
平成 13 年 8 月	農林水産省林野庁	網走中部森林管理署留辺蘂事務所を廃止、網走中部森林管理署に統合
平成 16 年 3 月	農林水産省林野庁	網走中部森林管理署佐呂間事務所・北見森林経営センターを廃止、網走中部森林管理署に統合

※昭和 17 年 6 月 10 日、野付牛町が市制施行して北見市と改称



【置戸営林署庁舎】

昭和 26 年から平成 5 年まで、42 年間使われた置戸営林署庁舎、置戸町拓殖にありました。

明治 41 年

網走営林区署

大正 8 年

網走営林区署野付牛分署

昭和 3 年

野付牛営林区署

昭和 17 年 5 月

野付牛営林区署

留辺蘂営林区署

昭和 17 年

北見営林区署

昭和 22 年 5 月

北見営林署

留辺蘂営林署

昭和 22 年 10 月

北見営林署

置戸営林署

留辺蘂営林署

佐呂間営林署

平成 4 年 3 月

北見営林署

佐呂間営林署

平成 11 年 3 月

北見森林
経営センター

網走中部森林管理署

網走中部森林管理署
留辺蘂事務所

網走中部森林管理署
佐呂間事務所

平成 13 年 8 月

網走中部森林管理署

平成 16 年 3 月

網走中部森林管理署

置戸営林署置戸貯木場と輸送事業所の看板
この看板は置戸町郷土資料館で展示されています。



分離

改称

改称

分離

改称

分離

統合

改称

改称

改称

改称

統合

廃止

統合

統合

廃止

表紙写真



【食べるだけではありません】

冬の森は静かです。

どこか遠くから、「カサッ カサッ カサッ・・・」と、擦れるような小さな音が聞こえてきました。

耳を澄まして、音の聞こえる方に、そおっと近づきます。

アカエゾマツの枝の茂みが怪しいと思い、観察していると何かが動きました。

エゾリスです。

エゾリスは冬眠しません。モコモコの冬毛をまとして冬も元気に活動しています。

よく見ると、両手（前脚）でクルミを持っています。

クルミを回転させながら歯を使い「カサッ カサッ カサッ」と殻を割っている様です。

音が止み、殻がぼろりと落ちました。クルミの実を食べたようです。

エゾリスは、幹を伝い地上に降りて雪上を走りだしました。

ピタッと止まって、雪に頭を突っ込んで穴を掘っています。

雪から顔を出したら、クルミをくわえていました。

また、お気に入りのアカエゾマツの枝に戻り、「カサッ カサッ カサッ」が始まりました。

アカエゾマツの根元には、半分に割れたクルミの殻がたくさん落ちています。

クルミが好物のようです。

エゾリスは、秋にクルミを集め、少しずつ多くの場所に埋めて、冬の食物としています。

冬に雪を掘って、クルミを探し出すのですから、ものすごい記憶力です。

苦労して、集めて埋めたクルミですが、全部を食べることはないようで、食べ残されたクルミが発芽、成長してオニグルミの木になります。

オニグルミの木は移動できませんが、エゾリスの行動によって分布域を広げています。

これが動物による種の貯食散布で、エゾリスはクルミを食べるだけでなく、森づくりに貢献しています。

エゾリスのように、クルミを食べると記憶力が良くなるかも知れませんね？



【お気に入りのアカエゾマツ】



【モコモコ、「ぬいぐるみ」のようです】



【クルミを探すため、幹を伝い地上に移動中
逆さまでも平気です】



【尻尾だけが写っていますが、
雪に頭を突っ込んでクルミを探しています】

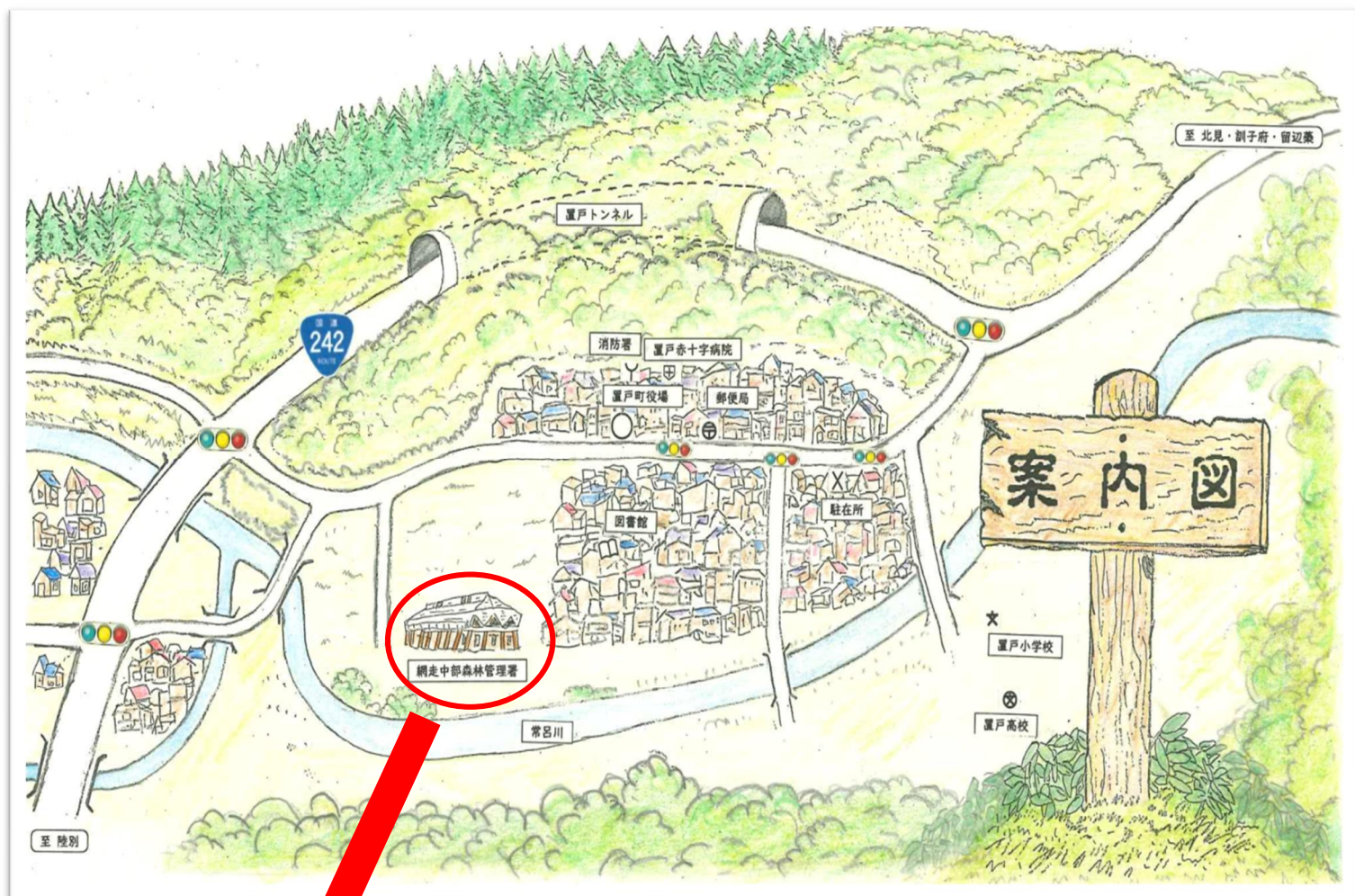


【とぼけた顔をしています但記憶力は抜群です】



【クルミが好物】

網走中部森林管理署案内図



網走中部森林管理署

〒099-1100

北海道常呂郡置戸町字置戸 398-99

TEL:0157-52-3011

(IP電話 050-3160-5770)